

# 長野県社保協ニュース <22-4>

2017年5月23日(火) 長野県社会保障推進協議会

<事務局>長野市高田 276-8 県労連会館 1階 TEL 026-223-1281・FAX 026-223-1291

http://www.n-syaho.com

E-mail: naganosyahokyou1281@star.ocn.ne.jp



## 共謀罪採決強行に強く抗議!

5・21、長野市で共謀罪反対のパレードが行われ170人が参加。採決強行に抗議の集会・パレードとなりました。発言者でママの会信州の山本妙さんは「私は過去から学びます。そして最大の武器、いまの憲法が残されている限り力一杯声を上げ続けたい。日本の持つ言論の自由、思想の自由を奪うこの共謀罪に、私はつよく反対します」と発言。大きな拍手が沸きおこりました。参加者は長野駅前までパレード。沿道で手を振る人、一緒にコールを口ずさむ人もいました。(23日トイゴ緊急スタンディングです)

## 5・18「憲法 25 条を守る共同集会」に 3,500 人



「憲法 25 条が危ない!」の思いで開かれた集会スローガンは「社会保障・社会福祉は、国の責任で!」長野県からはバス4台で100名以上の参加でした。写真は「守れ25条」のカードを一斉に掲げる参加者(いま満開のツツジの花のようですね)

## 国保学習会開催(5月16日) 国保部会

県社保協国保部会は、18年度実施をひかえた「国保の都道府県単位化」の進捗状況について、長野県国民健康保険室から説明を受けました。長野県が市町村国保の財政運営の責任主体になることで権限が県に集中し、給付費の抑制になることが懸念されます。説明では保険料が標準化されることで、市町村によっては今でも高く払えない保険料がさらに高騰する試算も。市町村独自の給付制度や一般会計からの繰入なども削減・解消の方向性が示されました。懇談では県側に市町村や住民の生活困窮実態によりそった国保運営となるよう強く要望しました。

県社保協は今年度も国保連続学習会を開催します。この「県単位化」の問題も学習し国保困難事例などを共有しながら秋の自治体キャラバンに結びつけていきます。



## 介護保険改悪案参院で審議入り

倉林氏(共産)廃案迫る

17日参議院で審議入りした「介護保険法改悪案」に共産党の倉林明子氏は「社会保障の解体につながるもの」と廃案を迫りました。2015年に続く3割負担への引き上げは「必要なサービスの抑制につながるの明らか」と批判。医療介護給付を適正化した自治体への財政的な優遇導入で「自治体に際限ない社会保障の引き下げ競争をさせることになる」と強調しました。24日は共謀罪廃止の国会行動とともに介護改悪法案の徹底審議と廃案を求める国会行動が予定されています。皆さんの参加をお願いします

話し合うことが「罪」になる!? **ストップ! 共謀罪**

**緊急県民集会 5月27日(土) 松本城公園 13:30**